

“音楽都市こおりやま”市民音楽祭参加行事

楽都
郡山

オーケストラで聴く アニメ音楽の世界

～ディズニー・ジブリ・日本アニメの傑作選～

©K.Nakagawa

指揮 竹本 泰蔵

©Kazuhiko Suzuki

管弦楽 山形交響楽団

2026年

12月13日(日)

午後2:00 開場 午後3:00 開演

会場

けんしん郡山文化センター
(郡山市民文化センター)大ホール

入場料

(全席指定・税込)

一般 4,000円 U25 2,000円
U18 1,000円

※未就学児入場不可

※U25は公演当日に25歳以下の方が対象 ※U18は公演当日に18歳以下の方が対象

※車椅子席はけんしん郡山文化センターのみで取り扱います。

※郡山市高齢者健康長寿サポート事業利用券が使用できます。

障がい者割引制度

介助の同伴を必要とする障がい等級1級程度の方が対象(2枚組での販売)

主催：公益財団法人郡山市文化・学び振興公社(郡山市民文化センター指定管理者)

後援：福島民報社/福島民友新聞社/福島テレビ/福島中央テレビ/福島放送

テレビユー福島/ラジオ福島/ぶくしまFM/郡山コミュニティ放送

お断り・お願い

未就学児のご入場及び乳幼児のご同伴はお断りいたします。

太陽メンテナンス麓山立体駐車場(郡山市麓山地区立体駐車場)は、

イベント開催時、混雑が予想されますのでご注意ください。

Program

ディズニーのお馴染みのナンバー

- ♪ ミッキーマウス・マーチ
- ♪ 「アラジン」組曲
- ♪ 「ライオン・キング」組曲
- ♪ 「美女と野獣」
- ♪ 「ムーラン」組曲

懐かしの日本のアニメ

- ♪ 「宇宙戦艦ヤマト」より 序曲とマーチ
- ♪ 「さよなら銀河鉄道999
—アンドロメダ終着駅—」より
“再会 ～LOVE THEME～”

現代のアニメ名曲

- ♪ 「名探偵コナン」メインテーマ
- ♪ 「鬼滅の刃」より “炎” “紅蓮華”

スタジオ・ジブリ名曲集

- ♪ 「風の谷のナウシカ」より
“鳥の人～エンディング”
- ♪ 「魔女の宅急便」より “海の見える街”
- ♪ 「天空の城ラピュタ」より
“空から降ってきた少女”
- ♪ 「もののけ姫」より “アシタカせっ記”
- ♪ 「となりのトトロ」より
“ネコバス” “となりのトトロ”

※本公演は映像放映はございません。※出演者・曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

プレイガイド

チケットぴあ先行抽選販売 8/21(金)11:00～8/31(月)11:00

詳細はチケットぴあのウェブサイトをご覧ください。

- けんしん郡山文化センター
- チケットぴあ(Pコード：331-544)
- CNプレイガイド
- みゅーあい郡山(郡山市勤労者互助会 ※会員限定販売)

※発売日はみゅーあい郡山にご確認ください。

入場券発売日

9月5日(土) 10:00～

電話予約 9月8日(火) 9:00～

※けんしん郡山文化センターのみの受付となります。※窓口販売後の残席からのご予約となります。
※ご予約いただいた入場券のお取り置き期間は10日間です。10日以内に会場へお越しください。代金引換で郵送させていただきます。

お問い合わせ

けんしん 郡山文化センター

Kenshin Cultural Center

☎024-934-2288

けんしん郡山文化センター 検索

けんしん郡山文化センターウェブサイト▶

✉ ko-center@bunka-manabi.or.jp



ミックス
紙 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C020493



この印刷物はFSC® 認証紙です。紙リサイクル可。

月曜日が休館日。月曜日が休日の場合は翌火曜日が休館日

オーケストラで聴く アニメ音楽の世界

Artist Profile

指揮 竹本 泰蔵 Taizo Takemoto, conductor



©K.Nakagawa

1977年のカラヤン・コンクール・ジャパンでベルリン・フィルを指揮して第2位に入賞。カラヤン氏に招かれベルリンを拠点に研鑽を積む。帰国後は国内主要オーケストラに多数客演。クラシックはもとより、オペラ、バレエ、ミュージカル、さらには映画音楽、ゲーム音楽、ロックやポップスなど、幅広い分野で活躍している。イングヴェイ・マルムスティーン、ジョー・リン・ターナー、マイケル・ナイマン、ミシェル・ルグラン、デヴィッド・ヘルフゴッドなど世界的アーティストとも共演。

1991年「ファンタジア シネマ・ライヴ」では、映像と生演奏をフレーム単位で同期させる技術的挑戦を成功させ、ロイ・E・ディズニー氏から称賛を受ける。「ゼルダの伝説」「ファイナルファンタジー」「星のカービィ」など名作ゲームの公演や録音も手掛け、「PRESS START」では、企画・構成・指揮を務め、オーケストラによるゲーム音楽公演の草分けとなる画期的な試みと評価されている。映画音楽CD「シンフォニック・フィルム・スペクタキュラー」シリーズでは、ゆう

に100曲を超えるレコーディングを行っている。

また自身の企画「映像付コンサート」シリーズでは、映画「ローマの休日」「ファンタジア」「トムとジェリー」等を取り上げ、演奏と映像の完全同期を実現。2024年には「Chubuフィルム・サウンズ・オーケストラ」を立ち上げ、映像に関わる音楽の魅力を発信している。さらに近年は「小さな小さなオーケストラ ポケット・フィルハーモニー」の音楽監督・指揮者として、その魅力的なサウンドと機動力で、映像を駆使したライブ感あふれる新しいコンサートを繰り広げている。

山形交響楽団 Yamagata Symphony Orchestra



©Kazuhiko Suzuki

1972年、東北初のプロ・オーケストラとして誕生。東京・大阪での「さくらんぼコンサート」など、年間150回に及ぶ多彩な演奏活動を展開。

2007年、飯森範親(現 桂冠指揮者)の音楽監督就任を機に、名実共に東北地方のみならず日本の音楽文化を代表するオーケストラとしての地位を確立。2008年には、アカデミー賞映画「おくりびと」に出演。2017年「モーツァルト交響曲全集」CDを発売、第55回レコード・アカデミー賞(特別部門 企画・制作)を受賞し全国的な話題となる。

2019年、山形に縁を持つ阪哲朗が常任指揮者に就任。2020年6月より、阪哲朗と「ベートーヴェン交響曲全曲演奏会」を開催。全集DVD制作とインターネット配信を通じて、山響新時代を発信した。2020年山形県総合文化芸術館開館を機に、山響は指定管理共同事業体に参画。「やまがたオペラフェスティバル」「文化の回廊フェスティバル」等、劇場と一体となった多彩な事業を展開。2022年、創立50周年を迎える。同年、演奏会形式オペラシリーズをスタート。阪とのオペラ演奏は高い芸術性と個性を育み、その成果は常に注目を集めている。2023年12月より、動画配信サービス「U-NEXT」での映像配信を開始。

常任指揮者 阪哲朗、首席客演指揮者 鈴木秀美、ミュージック・パートナー ラデク・バボラーク、ジュリアン・ラクリン、創立名誉指揮者 村川千秋、桂冠指揮者 飯森範親、名誉指揮者 黒岩英臣。

オフィシャル・ウェブサイト <https://www.yamakyo.or.jp/>